

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-257	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
226	論 I・715	ATLANTIS Logic and Expression I Standard		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学び、その内容を他者と交換し合ったり、ペアワーク等で互いの意見が尊重されたりする経験を積み重ね、個人の価値が尊重され、和やかな学習環境が整うよう題材に配慮する。
- 三 英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容とする。
- 四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで、視野を広げることができるようにする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。

## 2. 対照表

目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Natural English、Classroom English、目次、本書の特色を生かして使っていただくために、Introduction Questions - Answers	ネイティブスピーカーにより執筆された教科書であることをまず知ってもらい、正しい英語や正しい表現が自然に身に付くことを紹介する。そのことにより、学習者が自信を持って授業に取り組むことをねらいとする。紹介した Natural English、Classroom English Introduction Questions - Answers をしっかりと身に付け、自然な英語表現ができることでコミュニケーション力の向上を図る。(第一号)	i - xii
Warm-ups 1- 10	自分や身近な人を紹介したり、日常についての会話や中学校時代の内容を表現したりすることで、生活との関連を重視し、未来のことについても確認し、基礎的基本的な表現ができる。(第二号)	1-10
Section One. Lesson 1 I like to meet new people.	自分の好きなことと相手の好きなことを知り、まずは「気持ち」を詳しく話して伝え合う。「やり取り」のある会話表現を身に付けながら、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う。(第三号)	11-14
Section One. Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning.	日常生活を時系列、及び頻度に応じて表現できることで、相手の情報や立場を客観的に処理し、正しく伝え合う「やり取り」を行うことで、幅広い教養を身に付ける。(第一号)	15-18

Section One. Lesson 3 How about going shopping?	相手の提案に対して、対話の展開に留意しながら、誘いに対しての上手な断り方や賛成の仕方を学ぶ。提案する人と断る人にかかれてのコミュニケーションの具体的な進め方が提示される状況で、提案に対しての対処表現を学ぶ。個人の価値を尊重しながら、できるだけ会話を継続させていく力を身に付ける。(第二号)	19-22
Section One. Lesson 4 You should visit Kyoto.	英語表現独特のアドバイス表現を身に付け、自分の言いたいことを明確に伝えることをねらいとする。日本と外国の生活習慣の違いを学び、他国を尊重し、国際社会に関心を持つ。(第五号)	23-26
Section Two. Lesson 5 A pizza delivery person has to wear a uniform.	日本とアメリカの高校生の生活の違いについて議論する。(第五号) 個人の価値を尊重し、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第二号)	27-30
Section Two. Lesson 6 How was your vacation?	外国の英語名をクロスワード等で楽しく学び、その知識や情報を正しく伝え合う。また、Howからはじまる文章ならではのニュアンスの違いや答え方に注意の必要があることを学び、幅広い知識を身に付ける。(第一号)	31-34
Section Two. Lesson 7 What did you do last weekend?	学校外での生活についての日常的な話題について聞いたたり読んだりした内容について、必要に応じて書く活動に重点を置きながら、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりし、主体的に社会の形成に参画する態度を育む。(第三号)	35-38
Section Two. Lesson 8 I used to live in America.	Keiko のアメリカでの生活を彼女が撮った写真をもとに、情報や考え、気持ちを論理的に伝える。その際、順を追って伝えること、できるだけ聞き手に分かりやすく伝えることを意識しながら話すことに挑戦する。発表につながる前段階の活動として活用することをねらいとし、個人の考えを尊重し、その能力を伸ばし、創造性豊かな表現を育む。(第二号)	39-42
Section Three. Lesson 9 Big cities are more expensive than small towns.	2つのことを比較し、様々な対応のパターンを学ぶ。やり取りに必要な表現を身に付けながら、男女の意見の違いや、国による文化の違いを知り、自他の違いを受け入れながら自分のことを発信できる態度を養う。(第三号)	43-46
Section Three. Lesson 10 Who is the funniest person in your school?	「～の中で1番」というトピックに対して必要な表現を学び、ミニディベートを行う。賛成又は、反対の立場を明確にして、ペアで簡潔な意見をやり取りする。何が自分にとって一番大切なのか、という題材を通して、生命や自然環境に寄与する態度を育む。(第四号)	47-50
Section Three. Lesson 11 I wish I had more free time.	「もっと～だったらいいのになあ。」と心の中にある願望を表現するのに必要な語句や文、事前の準備をし、書く活動につなげる。将来勤労した時における不平不満を	51-54

	想像しながら、職業観について考える。(第二号)	
Section Three. Lesson 12 If I were rich, I would buy a big house.	11の題材を広げ、さらに職業観や勤労意識について学ぶ。(第二号) 書く内容についてペアやグループで事前に話し合ったり、伝えようとする内容のアウトラインを書いたりするための時間を十分に確保し、自分の気持ちや考えを、文章にして書いて伝えることに挑戦する。(第一号)	55-58
Section Four. Lesson 13 Have you ever been to Mount Fuji?	自分の経験を伝え合うやり取りを行う。アイコンタクトに注意しながらテンポよく対話し、互いの考えや気持ちの伝え合いができるだけ長く続くよう、幅広い知識を身に付けながら、双方にお互いを知りわかろうとする態度を養う。(第一号) また、これまでの学習から、与えられた語句だけで文章を書くことができるかにも挑戦する。	59-64
Section Four. Lesson 14 Flowers and trees will be planted in the garden.	タージ・マハールが誰によってつくられたかのストーリーを読み、世界の歴史や文化について学ぶ。(第五号) また、JohnとChiekoが最近結婚をして、家の改築工事をする事になり、友達に手伝ってくれるよう頼む。その際に必要なやり取りを学び、日常的な話題ではあるが、やや日本では馴染みのない外国特有の日常場面について話したり書いたりする力を身に付ける。(第三号)	65-70
Section Four. Lesson 15 I have a friend who plays the guitar well.	14の題材に引き続き、JohnとChiekoがお礼のメールを書く。日常生活でメッセージや電子メールを書く場面が多くなってきている昨今、お礼のメールを書くということは、生徒にとって身近な題材であることも確かだ。感謝を伝えるというシンプルかつとても重要なやり取りを通して、公共の精神を育む。(第三号) また、世界の国々や日本の都市について情報や考えを伝え合う。(第五号)	71-76
Section Four. Lesson 16 America is the country where Jazz was born.	日本と米国の祝日や年中行事の違いについて知る。各国の伝統的な行事や文化を学び、また国や身近な場所について描写文することに挑戦する。(第五号) モデル文を参考に文を組み立て、他の生徒が書いたものを読んだ上で、内容に関して生徒が意見を交換したりする活動を行いながら、幅広い知識と教養を身に付ける。(第一号)	77-82
追加確認 (追加のアクティビティ)	Lesson 1~Lesson 16までに学んだ内容をもとに、ディスカッションやワードマップ、ブレインストーミング、発表、プレゼンテーション、ディベート等の多くの発展的な活動を通して、個人の意見を尊重し、論理的に表現する力を伸ばす。(第二号)	83-98
意見や主張の展開	自分の意見や主張を展開するために、接続詞を使って、短い文と短い文をつなぎ、自分の考えをより適切に表現するための書くスキルを身に付ける。「書いて伝える」	99-108

	活動をサポートすることで、話す（発表）にも自信を持って取り組むことができ、豊かで道徳心に満ちた表現活動(第1号)と自他ともに協力しながら取り組む態度を育む。(第三号)	
不規則動詞一覧表	論理的に表現するために、よりしっかりとした語句や単語を身に付けるために不規則動詞一覧表を活用し、幅広い知識を身に付ける。(第一号)	109-110
発音	英語らしい発音に慣れ親しみ、より自然な英語の発音が身に付くよう活用し幅広い知識を位につける。(第一号)	111-112
プレゼンテーション	「日本の少子化」がテーマのプレゼンテーションを参考に、これまでに学んだ内容も応用しながら、社会的な話題に関してプレゼンテーションをする活動をする。発展的な活動を通して、個人の意見を尊重し、論理的に表現する力を伸ばす。(第二号)	113-115
ディベート	プレゼンテーションの題材「少子化」に引き続き、その要因と考えられる「晩婚化」から、「結婚」をテーマにしたディベートを読み、これまでに学んだ内容も応用しながら、社会的な話題に関してディベートをする活動をする。発展的な活動を通して、個人の意見を尊重し、論理的に表現する力を伸ばす。(第二号)	116-118
語彙一覧表、会話文や短い物語文の訳	各レッスンの新出単語、慣用表現の一覧表、及び、会話文や短い物語文の訳を巻末に載せることで、自主的に学んだり、家庭学習に役立てたりする態度を養う。(第三号)	119-132
歌	英語ならではのイントネーションやリズムを通して、英語の歌に慣れ親しみ、幅広い知識を身に付ける。(第一号)	133

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 一 外国語を通じてコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語使用場面や言語の働きに留意した。特に外国語を日常使用している人々にとって自然な表現であることに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着き、また運用できるよう配慮した。
- 二 レッソンの主題となるトピックを入念に選定した。生徒の日常に身近な題材を選ぶことで、興味関心を高めることをねらいとする。また、多様なものの見方や考え方を養うとともに、公正な判断力が養えるような題材にも挑戦した。様々な価値観に触れることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、また自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度が育成できるよう工夫した。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
Section Four. Lesson 14 Flowers and trees will be	最近結婚した John と Chieko が、家の改築工事をする。 このように、外国では特に、業者に頼むことなく、自身の手で家の改築をすることが日常でよく行われる。住ま	65-70

<p>planted in the garden.</p>	<p>いへの意識を高めることが、生命や自然を大切に、地球環境の保全にもつながる態度であること、また他国を知ることでより我が国の現状への関心が高まることを期待する。また、そういった興味関心より、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成につながり、SDGs等の活動へと発展していくことを期待する。(学校教育法第二章三、学校教育法第二章四)</p>		
-------------------------------	---	--	--

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-257	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
226	論 I・715	ATLANTIS Logic and Expression I Standard		

## 1. 編修上特に意を用いた特色

### 特色 1・繰り返しによる学習

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持つよう意を用いた。例えば、トピックに関する事項や問題がレッスン全体に渡ること、語彙を少しずつ紹介し、本文では新しい文章の中に組み込まれること、重要文法事項が本文に1度だけではなく、何度も出てくるよう、かつそれが外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意した。

### 特色 2・段階を追った発展的な問題

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

### 特色 3・継続的な学習意欲の育成

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

## 2. 対照表

### A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1.Pre-learning	【知識及び技能】 内容（1） ア 論理の構成や展開及び表現などに関する事項	各レッスン 1 ページ目	2 ～ 3
2.Pre-practicing	(ア) 目的や場面、状況に応じた論理の構成や展開 (イ) 情報や考えなどを効果的に伝える表現  内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	各レッスン 2 ページ目	
3,4,5 Questions and answers, Conversation, Writing, etc.	【思考力・判断力・表現力等】 内容（2） ※詳細については以下 B 表に記載。 【言語活動及び言語の働きに関する事項】	各レッスン 3～4 ページ 目	

内容(3)① ※詳細については以下B表に記載 内容(3)② 「英語コミュニケーションI」の2の(3)の②と同様に取り扱うものとする。	(Lesson13, 14,15,16は3~6ページ)	
	計	2~3

B.目次順にそった対照表(年間指導時数)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
より自然な英語表現 目次 英語学習のポイント Natural English Classroom English Introduction Questions - Answers	内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	i - xii	1
Warm-ups 1- 10 現在形、進行形、過去形、未来形	内容(1) 実際に英語を用いた言語活動を通して、小学校学習指導要領第2章第10節の第2の2の(1)、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)及び、「英語コミュニケーションI」の2の(1)に示す言語材料及び次に示す事項のうち、三つの領域別の目標に達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいても活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。ただし、語や文法事項については、三つの領域別の目標に達成するのにふさわしいものを適宜取り扱うものとする。	1-10	4
Section One. Lesson 1 I like to meet new people. 不定詞、動名詞	内容(2)ア 日常的な話題や社会問題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。	11-14	2
Section One. Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning. 頻度の関する副詞	内容(2)イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。	15-18	2
Section One. Lesson 3 How about going shopping? 提案の基本型	内容(3)① ア(ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。	19-22	2

<p>Section One.</p> <p>Lesson 4</p> <p>You should visit Kyoto. アドバイスの基本型</p>	<p>内容（３）① ア（ア）</p> <p>関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p>	23-26	2
<p>Section Two.</p> <p>Lesson 5</p> <p>A pizza delivery person has to wear a uniform. 許可の基本型</p>	<p>内容（３）① ア（イ）</p> <p>日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、優れている点や改善すべき点を話して伝え合ったり、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p>	27-30	2
<p>Section Two.</p> <p>Lesson 6</p> <p>How was your vacation? 過去形 was, were, did</p>	<p>内容（２）ア</p> <p>日常的な話題や社会問題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。</p>	31-34	2
<p>Section Two.</p> <p>Lesson 7</p> <p>What did you do last weekend? WH-疑問詞＋一般動詞</p>	<p>内容（３）① イ（イ）</p> <p>日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>	35-38	2
<p>Section Two.</p> <p>Lesson 8</p> <p>I used to live in America. I used to と過去形</p>	<p>内容（２）イ</p> <p>日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。</p>	39-42	2
<p>Section Three.</p> <p>Lesson 9</p> <p>Big cities are more expensive than small towns. 比較級</p>	<p>内容（３）① イ（ア）</p> <p>関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>	43-46	2
<p>Section Three.</p> <p>Lesson 10</p> <p>Who is the funniest person in your school?</p>	<p>内容（３）① ア（ア）</p> <p>関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が充</p>		



最上級	分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。	47-50	2
Section Three. Lesson 11 I wish I had more free time. Wish を使った仮定法	内容 (3) ① ウ (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的话题について、使用する語句や文、文章例が十分に示されていたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	51-54	2
Section Three. Lesson 12 If I were rich, I would buy a big house. If + would を使った仮定法	内容 (3) ① ウ (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的话题について、使用する語句や文、文章例が十分に示されていたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	55-58	2
Section Four. Lesson 13 Have you ever been to Mount Fuji? 現在完了形	内容 (3) ① イ (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的话题について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	59-64	3
Section Four. Lesson 14 Flowers and trees will be planted in the garden. 受動態	内容 (3) ① ウ (イ) 日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答したり、意見や感想を伝え合ったりする活動	65-70	3
Section Four. Lesson 15 I have a friend who plays the guitar well. 関係代名詞	内容 (3) ① イ (イ) 日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	71-76	3
Section Four.	内容 (3) ① ウ (イ)		

<p>Lesson 16</p> <p>America is the country where Jazz was born.</p> <p>関係副詞</p>	<p>日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答したり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>	77-82	3
<p>追加確認</p> <p>(追加のアクティビティ) ※各レッスンからの発展的内容。各レッスンが終了してから活動しても、全レッスンが行ってから活動してもよい。</p> <p>ディスカッション</p> <p>ワードマップ、ブレインストーミング、発表、プレゼンテーション、ディベート等</p>	<p>内容(3)①イ(イ)</p> <p>日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>	83-98 113-115 116-118	20
<p>意見や主張の展開</p> <p>接続詞</p> <p>より長い文章をつくるテクニック</p>	<p>内容(3)①ウ(イ)</p> <p>日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、文章例が十分示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答したり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>	99-108	9
<p>不規則動詞一覧表</p>	<p>内容(1)</p> <p>実際に英語を用いた言語活動を通して、小学校学習指導要領第2章第10節の第2の2の(1)、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)及び、「英語コミュニケーションI」の2の(1)に示す言語材料及び次に示す事項のうち、三つの領域別の目標に達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいても活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。ただし、語や文法事項については、三つの領域別の目標に達成するのにふさわしいものを適宜取り扱うものとする。</p>	109-112	適宜
<p>発音</p>		113-114	適宜
<p>語彙一覧表、会話文や短い物語文の訳</p>		115-116	適宜
<p>歌</p>		117-129	適宜
計			70